

令和 4 年度 館山市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況

基本方針 1 市街地における回遊性の向上（重点）

○施策の方向性 1 市街地内及び地域間をつなぐ公共交通の機能強化

市街地循環バスの導入と既存バス路線の見直し

- ・令和 4 年度は通年での実証運行を実施。令和 3 年度と比べ便数や運行エリアを縮小したが、利用者は微増傾向にあるため、**令和 5 年 6 月から本格運行に移行させる。**（3 月末の予算案可決が前提）運行に際しては、環境や乗りやすさに配慮し、ノンステップの電気バス車両を導入したいと考えている。
- ・既存バス路線（館山市内線、洲の崎線）の見直しについては、行政と事業者での協議は実施したものの未着手。

○施策の方向性 2 鉄道駅や交通結節点の機能強化

館山駅各施設の利便性向上（駅前広場の再整備や待合空間整備等）

- ・**民間による館山駅前の空き施設利活用に向けた動き**の中で、旧サカモトのリノベーションなどが行われた。
- ・行政としても、館山駅東口の再整備に向けた配置等の検討を始めたところ。集客施設等におけるバス待ち環境の整備
- ・未着手。
- 館山駅における鉄道・バス等との接続改善
- ・交通事業者により、JR 内房線や亀田病院行き路線バスとの接続改善が行われている。
- ・市街地循環バスについても、始発便は可能な限り JR 内房線や他のバス路線からの接続を図っている。
- ・抜本的な接続改善には、全乗り入れ路線のダイヤ見直しが必要。
- JR 内房線の無人駅の利活用
- ・市役所内部で、那古船形駅舎の利活用に関し、若手中堅職員からなるプロジェクトチームを立ち上げ、**利活用方策の検討を重ねたが、動き出しには至っていない。**

基本方針 2 隣接自治体との広域的な連携の推進

○施策の方向性 3 南房総市と一体となった公共交通ネットワークの機能強化

平群線・丸線の見直し

- ・令和 4 年度から、見南房総・館山地域公共交通活性化協議会にてオンデマンド交通「**チョイソコ南房総・館山**」の実証運行を実施。平群線エリア（南房総市三芳地区・平群地区）を中心に、館野・九重地区の一部をエリアに含め運行中。令和

5 年度に本格導入の判断を行う見直しとなっている。

白浜千倉館山線の見直し

- ・令和 5 年 4 月 1 日から、安房白浜～千倉駅間の減便を伴うダイヤ見直しを実施。
(南房総・館山地域公共交通活性化協議会議決済) 館山駅発着は 5 往復のままで
が、要望が多かった館山駅発 13 時台(通院後の帰宅に適した時間帯)の安房白
浜行きを設定するなどの改善を図る。

高速バスの活用とパークアンドライド駐車場の整備

- ・高速バスの安房郡内相互間の利用を可能とする仕組みについては、南房総・館山
地域公共交通計画にも位置付けているが、検討が進んでいない状況。
- ・パークアンドライド駐車場の整備については、船形バイパスの進捗に合わせ、鏡
ヶ浦クリーンセンター等が活用できないか、検討していく。

基本方針 3 主な公共交通空白地域における地域主体の交通システムの構築(重点)

○施策の方向性 4 地域が関わる新たな交通システムの導入

住民ニーズに応じた豊房線再編見直しの実施

- ・令和 4 年度、南房総・館山地域公共交通活性化協議会の事業として豊房線エリア
の「**買い物シャトルサービス**」**実証運行**を実施。令和 5 年度も**実証運行を継続さ
せ、ニーズ等を検証し、豊房線の見直し、再編判断を行うこと**としている。

ラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討

- ・令和 4 年 4 月から、**富崎地区において、地元住民組織主体の「富崎ぐるっとバ
ス」本格運行がスタート**。カーシェアを用いて運行を行っており、毎回 10 人前
後の利用がある。(総務省の「集落支援員制度」を活用し、支援を行っている)
自動運転車両の導入研究
- ・未着手。

基本方針 4 観光二次交通の整備・確保(重点)

○施策の方向性 5 沖ノ島や海岸沿いのアクセス確保

グリーンスローモビリティの活用による鏡ヶ浦回遊ルートの設定

- ・未着手。
- ・タクシー事業者の取組として、令和 3 年度に続き令和 4 年度も、**安房地域内の駅
や宿泊施設からタクシーで観光地を周遊できる「南房総タクシー旅プラン」の実
証実験**が行われた。(観光庁補助事業)

○施策の方向性 6 既存路線の観光客対応

洲の崎線の土休日一部便の観光周遊バス化

- ・洲の崎線固有の案件ではないが、令和 5 年度当初から、インターネットで購入可能な 1 日乗車券等の販売を行う予定。手軽さ、便利さをアピールし、観光客の取り込みを図りたいと考えている。
- ・他に計画に掲げた「観光客の荷物を貨客混載で運ぶ取組」については未着手。

基本方針 5 高齢者等支援制度の確立

○施策の方向性 7 高齢者等の外出支援推進

高齢者等、自家用車が使えない人が気軽に外出できる環境づくりの推進

- ・計画に掲げた「タクシー運賃の補助」については未着手。
- ・「移動販売」については、主に県内で「ヤックスドラッグ」を展開する千葉薬品さまにより、館山地区や豊房地区、館野地区で移動販売が開始され、好評を博している。
- ・館山市広報令和 4 年 1 2 月号に、移動手段確保等に関する各種取組を紹介する記事を掲載し、周知を図ったほか、免許返納者向け施策を実施する市民協働課を通じ、第一生命さまに広報を基にした周知活動を実施いただいた。

基本方針 6 公共交通を利用しやすい環境の整備

○施策の方向性 8 キャッシュレス化の推進

バスやタクシーにおける交通系 IC カードや QR コード決済等の導入

- ・タクシーについては、事業者の取組として、QR コード決済やクレジットカード等キャッシュレス決済への対応が完了した。
- ・バスについては未着手だが、市街地循環バス実証運行において、令和 3 年度から継続して QR コード決済「PayPay」を導入。本格運行においても QR コード決済を取り入れる予定である。

○施策の方向性 9 分かりやすい運賃制度の導入

ゾーン制など、分かりやすいバス運賃体系の導入

- ・ゾーン制の検討については未着手。
- ・利用促進を図るため、スマートフォン等で購入できる 1 日乗車券や回数券の販売を令和 5 年当初からスタートさせる予定である。（南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業）

○施策の方向性 10 ユニバーサルデザインの導入

バスやタクシー車両のバリアフリー化促進

- ・事業者の取組として、車両入れ替え時等にノンステップ・ワンステップ車両に置

き換わっている状況。

案内表示等の多言語化推進

- ・案内表示等の多言語化は未着手。
- ・事業者の取組として、鉄道や路線バス、高速バスにおける案内表示や案内放送の多言語化が進められており、高速バスにおいては全ての路線で英語による案内放送が導入されている。

○施策の方向性 1 1 公共交通に関する情報発信の強化

Google Map 等におけるバス・鉄道時刻等の情報発信強化

- ・事務局にて調査したところ、鉄道のみならず市内バス路線の情報が Google Map に搭載され、バス路線も含めた経路検索が可能となっている。
- ・令和 4 年度の市街地循環バス実証運行については、ナビタイム社の経路検索に対応。以後も対応いただくこととしている。

MaaS に関する取組着手

- ・令和 5 年度以降、Web での 1 日乗車券・回数券販売を拡充し、タクシーや鉄道、さらには観光施設等とも連携し、ストレスのない移動環境を提供。二次交通の改善を図れればと考えている。

②南房総市と連携したバス路線マップの製作

- ・南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業として実施を検討しているが、現在路線の見直し検討を進めている状況である。作成後の大幅修正等の手戻りを防ぐため、一定の方向性が出た後に製作に着手したいと考えている。

○施策の方向性 1 2 公共交通の通学利用促進

②通学時の公共交通・スクールバス活用推進

- ・小中学生の通学時路線バス利用促進やスクールバスの混乗化については、学校現場や保護者の考え等を尊重する必要がある、進んでいない。
- ・高校生に向けては、市内 3 高校の新入生を対象に、公共交通利用を呼び掛けるチラシを配布しているところ。

基本方針 7 公共交通により親しんでもらうための施策展開

○施策の方向性 1 3 モビリティ・マネジメントの実施

③官公庁でのノーマイカーデーの実施

- ・未着手。

④公共交通利用のメリットに関する市民への普及活動実施

- ・市ホームページへの掲載や市広報（不定期）への情報掲載を通じ啓発活動を行っているが、まだまだ不十分な状況。

○施策の方向性 1 4 家族で公共交通に親しめる施策の実施

②⑤家族で楽しめるバスや鉄道の乗り方教室の開催

- ・ コロナ前はバス事業者によるイベント等が開催されていたが、令和 2 年度・ 3 年度はコロナの影響でイベントが開催できていない。
- ・ 乗り方教室については、ジェイアールバス関東の取組として、令和 3 年度、西岬小学校の児童を対象とした乗り方教室が開催された。

②⑥ファミリー向け割引制度等の導入

- ・ 未着手。MaaS の推進に合わせ、導入を検討していきたいと考えている。